

Numata 7

広報めまた

2019.7.11
Vol.631

6/29 認定こども園運動会



令和元年度町政執行方針概要

「オールぬまた」で

「ふるさと沼田町」を子供たちに



町長 横山 茂

諸先輩各位に築いていただきました「ふるさと沼田」をしっかりと守り「子供たちに帰ってきてもらえる故郷づくり」に挑戦することを決意し、この度の統一地方選挙におきまして、町民の皆様や各団体の皆様から力強いご支援、ご厚情を賜り無投票により当選させていただきました。今後4年間に亘って、町政運営に携わる機会を与えてくださいましたことに心から感謝とお礼を申し上げます。

6月20日・21日に開催された第2回議会定例会で、横山町長が令和元年度の執行方針について述べました。

今回の広報では、その主要な部分を掲載いたします。全文をご覧になりたい方は、役場総務財政課までお問い合わせください。

行政運営をめぐる情勢は外的要因を含め厳しさを増しておりますが、本町は豊かな自然環境と「雪やあんどん・ほたるや化石」など、わが町のオンリーワン素材がたくさん守り継がれており、その中でも昨年「ヌタネズミルカ」が北海道天然記念物に指定され、本年5月には日本遺産に認定されました「炭鉄港」の構成文化財のひとつとして「クラウス15号蒸気機関車」が認定を受けております。

私は、この大事な資源を徹底的にPR・活用し、町外から人を呼び込み「交流人口」を拡大することで移住者や新規就農者等も呼び込む、きつかけづくりになるものと確信しており、この取り組みを行政と町民との相互理解の上で、町が一丸となつて取り組むことが今後の「まちづくり」の基本と考えております。

我々の世代から子供たちに引き継ぐ礎を築き「夢と希望と誇りの持てるまちづくり」を目標に次の基本政策を掲げ、取り組んでまいります。

○交流人口の拡大

交流人口の拡大を進め、賑わいと豊かなまちづくりを目指します

○産業の振興

沼田農業の持続可能な環境づくりと商業環境の魅力創出を図り産業振興を目指します

○雪利用の促進と産業創出

雪エネルギーの利用促進と新たな企業誘致・町内企業サポート体制を整え産業創出を目指します

○教育、子育て環境の充実

世界に羽ばたく沼田っ子を育成す

る教育環境の充実や安心して暮らせる子育て環境の充実を目指します

○町民福祉の向上

高齢者が活躍できる場を創出し生涯共に元気で暮らせる町づくりを目指します。

★沼田町第6次総合計画

近年の予想を超える速さの人口減少・少子高齢化社会やAI・IoTなどの技術革新によって大きな変革期を迎えております。

こうした社会情勢のもと地域には様々な課題があり、いかにして持続可能な町を子供たちに引き継ぐかが最大の懸案事項であり、総合計画は長期的な展望の下で自治体運営の基本理念や将来像を定めるとともに、全ての計画の基本となり、まちづくりの最上位に位置づけられる計画であります。

策定にあたっては、各種データによる現状分析と今後の社会動向の把握に加え、町民アンケートや中学生アンケート及び住民ヒアリング、図書館及び暮らしの安心センターに設置した「道しるべ掲示板」などを通じて広く町民皆様のご意見を伺い

「沼田町総合計画町民委員会」で議論検討いただきました。

※基本構想につきましては、第2回議会定例会において議決をいただいたところです。詳しくは12〜15頁参照。

★JR留萌本線利用促進事業

JR留萌本線問題では、JR留萌本線沿線自治体会議や北空知JR留萌本線問題検討会議において、存続をめざし各自治体単位でのJR利用促進策の実施を行うことが確認されております。

本町においても、昨年まで商工会で実施いただいたJR留萌本線応援事業に加え、NHK朝の連続テレビ小説「すずらん」20年記念イベントと日本遺産に認定された「炭鉄港」の構成文化財である、クラウス15号蒸気機関車の生誕130年記念イベント等を沼田町観光協会と連携し実施する事業予算を計上いたしております。

★農業の振興

農業・農村を取り巻く環境は依然として厳しく、発効されたTPP11

や日EU・EPA、更には日米物品貿易協定(TAG)の交渉開始など、急速な国際化による輸入農産物の増加、生産過剰による価格低迷、産地間競争の激化とともに、農村部における高齢化と後継者不足による労働力不足に悩まされ、将来の沼田農業存続も危惧される状況にあり、本町農業の将来方向を見据えた抜本的な対策と新たな時代に対応できる沼田農業の確立が必要となつております。

このため、本町農業の諸問題の解決に地域全体で取り組み、農業を担う者が、夢と誇りを持ち、持続的に経営を維持できる農業を実現するため、「沼田町農業振興条例」を提案するとともに、スマート農業の実現や将来の農業・地域を担う人材(担い手)の確保、新規就農者の募集対策及びその育成への取り組み、農地の流動化・農地所有適格法人の育成、農業振興対策事業など沼田農業の持続可能な環境の検討と準備を進める体制を提案いたしております。

また、沼田町における農地の流動化につきましては、農業委員会等関係団体の努力と地域の受け皿となる担い手農業者の安定経営に向けた規模拡大意向に沿って、現在は順調に

令和元年度 町政執行方針概要

★商工業の振興

商工業の経営安定化や維持等は商工業者自らの創意工夫と自助努力が必要であるものの、町や商工団体等関係団体の後押しも必要であることから、商工業の振興及び活性化を図り、住みやすいまちづくりを推進するため、「沼田町商工業振興条例」を提案いたしております。

また、沼田町内に所在する中小企業の振興、発展及び商店街の活性化を図るため「沼田町商工業活性化サポート事業」を創設するとともに、中小企業者に対する運転資金や設備資金の融資促進に向け、特別融資総額と個別限度額の拡大のための預託金増額に併せて必要となる利子補給及び保証料補助を予算計上し、経営の安定維持及び商店街の活性化の促進を図るなど、商工業の振興に努めてまいります。

近年の多様化する消費者のニーズは、価格競争の激化及び近隣の大型店への消費流出など地元商工業者に極めて大きな影響を及ぼしていることから、店舗維持と魅力ある商業環境を持続し、後継者や第三者に対して事業を継承する際のリフォーム補

助など、魅力ある住みやすいまちづくりを促進するために「魅力アップ！ぬまた活性化支援事業」を創設し、店舗の新築、空き店舗などを活用した新たな商業活動、起業化や商品開発など、まちおこし事業や自主的・継続的なまちづくりへの取り組みを支援し商店街の活性化を図ってまいります。

★企業誘致の推進

企業誘致につきましては、町を持続可能とする上で欠かせない働く場の確保のため、我が町独自の雪利用の強みを生かしつつ、積極的な企業訪問活動を展開してまいりました。

このような状況を踏まえ、新たな企業立地促進に向け、町内既存施設等を活用した賃貸による工場等の新増設に対する助成制度の拡充検討を進めるなど、企業誘致と既存企業への事業拡大をサポートするセクシヨンの開設を提案いたしております。

更なる雇用の場の創出に向け、引き続き各種優遇策とともに本町の様々な優位性を発信しつつ、道内外の企業に対する訪問活動を積極的に展開し誘致実現に努めてまいります。

★観光の振興

観光の振興については、本町の魅力ある豊富な地域資源を有効活用しながら観光協会において各種事業を展開中ではありますが、新たに8市町による「北そらちく南るもい」こともバスポート事業」に参画し、本町と周辺市町の資源を周遊させる仕組みを活用した都市圏からの交流人口増加に期待するとともに、引き続き観光情報発信の一元化と株式会社まちづくりぬまたが行う特産品のPR・販売などとの連携により、交流人口の拡大による地域経済の活性化を図ってまいります。

★防災対策の充実

近年多発する災害に対し、防災訓練や防災資材の充実を図ってまいりましたが、引き続き備蓄食料の購入や町民向けの防災研修会による啓蒙に取り組み、地域防災力の向上に努めることといたしております。

また、昨年9月に発生した北海道胆振東部地震の影響による広域停電の発生は本町においても町民生活に

推移し、農地集積率は93%を超える水準を維持しております。引き続き、農業経営の安定化を目指し、規模拡大及び農地所有適格法人の設立に伴い農地を取得しようとする農業者（認定農業者）の経済的負担軽減を図り、今後における農地流動の円滑化と農業競争力の強化及び経営体の確立により沼田農業の発展を目指し、併せて沼田町農産物のブランド力向上に向けた検討など様々な課題や対応について、JAや関係機関団体、生産者等との連携を一層密にしながら、沼田町農業の振興発展に努めてまいります。

大きな影響を及ぼしたところであり、福祉避難所である「和風園」「旭寿園」へ非常用発電機を設置するとともに、災害時に避難所の衛生環境を確保するため牽引式のトイレトレーラーを導入するための所要額を計上しております。

導入にあたっては、災害時に不足するトイレ対策として「一般社団法人助けあいジャパン」が取り組むトイレトレーラーを道内初で導入することとし、本町での災害時の使用は勿論のこと災害に見舞われた被災地への応援などを含め運用することといたしております。

なお、導入財源としては緊急防災・減債事業債を活用することとした予算を計上し、町の実質的な持ち出しとなる800万円につきましては、全国からクラウドファンディングによる寄附を募り取り組むことといたしております。

★子育て世代包括支援センターの設置

時代変化の影響を受けて、妊娠、出産、子育てに困難を抱えるケースや成長発達に支援を要する幼児の割合が増えており、次世代を担う親子

を身近な地域で支える仕組みを作っていく必要があることから、国では、「子育て世代包括支援センター」を市町村に設置することを努力義務とし、令和2年度末までに全国展開を目指し取り組むこととされております。

子育て世代包括支援センターは、妊産婦及び乳幼児の実情を把握し、妊娠、出産、子育てに関する各種の相談に応じ、必要に応じて支援プログラムの策定や地域の保健医療又は福祉に関する機関との連絡調整を行い、母子保健施策と子育て支援施策との一体的な提供を通じて、包括的な支援を行うこととされております。

本町においては、従来から母子保健と子育て支援の両面から多様な支援の充実に努めてきたところで、健康福祉総合センター（保健福祉課子育て支援推進室）に「子育て世代包括支援センター」窓口を設置するとともに、母子手帳の交付や乳幼児世帯の転入をきっかけに妊婦等と信頼を築き、将来にわたって健康的な生活習慣を確立できるよう、保健師の訪問支援体制を強化し、また、妊婦の歯科健診の助成を新たに実施することで、健康的な生活習慣の確立を図るとともに、関係機関と連携

し、切れ目のない相談支援や事業を実施してまいります。

★移住・定住の推進

人口問題はわが町にあつて最重要課題のひとつであります。これまでの住宅取得等に係る奨励金制度の「沼田町住んで快適暮らしで満足移住定住応援条例」が平成31年3月31日をもって失効いたしました。今後においても定住を促していくために必要なことから、これまでの制度を拡充して「沼田町住んで快適住まいる応援条例」や新たに東京圏で勤務する方が沼田町へ転入して企業へ就職することを促すために「UIJターン新規就業支援事業」を提案していることに加えて、町内企業で就労している通勤されている方の転入を促すための「町外通勤者移住支援事業」、若い世代の民間賃貸住宅への入居を支援する「ヤング世代移住促進家賃助成事業」、子育て世帯で町外に通勤する保護者を支援するための「子育て世帯町外通勤支援事業」、高校生における経済的負担を支援する「がんばる高校生応援手当」、移住を検討する方が移住する地域として選んでいただけるように

「移住定住ブランディング戦略事業」を展開することとして、所要額を予算計上いたしております。

人口減少を始め、地方を取り巻く環境は年々厳しさを増しておりますが、沼田町には沢山の地域資源があります。個々の資源を更に磨き上げ、資源と資源をつなぎ合わせ、沼田町の魅力を発信していくことが必要と考えております。

人生100年時代と言われる今日であります、高齢者を含め現役世代が活躍できる場を創出し「オールぬまた」で「ふるさと沼田町」を子供たちに引き継ぐため、新たな時代の第一歩を「新たな視点」と「新たな創造」をもって、町民皆様の付託に応えるべく職員と一丸となり全力で取り組んでまいりたいと考えております。議員各位並びに町民の皆様のご支援とご協力を重ねて心からお願ひ申し上げます。

令和元年度教育行政執行方針概要

「ふるさと沼田」を愛し

「世界に羽ばたく」人材を

現代社会は、生産年齢人口の減少、グローバル化の進展や絶え間ない技術革新などによって、社会構造や雇用環境が大きく急速に変化しており、複雑で予測困難な時代となっております。

そのような背景の中、子どもたちの日々の充実した生活を実現し、未来の創造を目指していくためには、「よりよい学校教育を通してよりよい社会を創る」という目標を学校と社会が共有し、連携・協働しながら、新しい時代に求められる資質・能力を子どもたちに育む「社会に開かれた教育課程」を実現することが求められております。



教育長 吉田 憲 司

3月7日に開催された第1回議会定例会で、吉田教育長が令和元年度の教育行政執行方針について述べました。

今回の広報では、その主要な部分を掲載いたします。全文をご覧になりたい方は、役場総務財政課までお問い合わせください。

新学習指導要領が、小学校では令和2年度から、中学校では令和3年度から全面实施となり、各学校において準備が進められており、子どもたちが未来社会を切り拓くための資質・能力を確実に育成するための、授業改革に取り組んできております。

また、今日、学校が抱える問題は、いじめや不登校、貧困や児童虐待、特別な配慮を必要とする児童・生徒への対応や、保護者へのきめ細やかな対応の他、学校における働き方改革の推進など多岐にわたり、様々な課題解決に向けて、家庭や地域との

連携も図りながら取り組んでいくことが必要とされており。

一方、時代の変化に伴い人々の価値観が多様化しておりますが、生きがいを感じ心豊かな人生をおくるための環境づくりとして、社会教育の役割も重要であります。

わが町が、これからも発展していくためには、教育が果たす役割は極めて大きく、教育委員会としても子どもからお年寄りまでの町民が「沼田でよかつた」と思ってもらえるような、「沼田ならではの希望に満ちた豊かな学びの実現」に向けて各種施策の展開を全力で取り進めて参ります。

以下、令和元年の主要施策について申し上げます。

★教育の総合的な充実・発展に向けて

子ども達を取り巻く環境がめまぐるしく変化するとともに、様々な要因が複雑に絡み合つて、学校生活に順応できない子ども達の存在が全国的に報告されています。子どもたちのより良い発達には、確かな学力の習得、健全な人間関係の育成や生活習慣の確立、自己実現を支える教師力の向上や学びの環境整備を通じた

地域の教育力の向上が必要であります。本町は平成25年度より、小学校から中学校までの義務教育の9年間を一体のものとして捉え、小・中・家庭・地域が互いに連携しながら、「小中一貫・連携教育」に取り組み、昨年4月に、併設型小中一貫校「沼田学園」を開設致しました。

一貫・連携教育の第3期を迎える本年度は、児童・生徒が社会で自立できる基礎的な資質・能力の育成を図るため、これまでの一貫・連携教育の取り組みの成果を生かしながら、学校における組織体制・指導体制の更なる充実を図り、義務教育の9年間における、子ども達の心身の発達段階に応じたきめ細やかな指導を進めるとともに、ふるさと沼田に誇りを持ち、社会をたくましく生き抜く子どもを育てるための教育となる、新たな3年間のスタートの年と致したいと思っております。

★ふるさと教育・

キャリア教育の充実

子どもたちが生まれ育つた、地域の自然や伝統・文化に親しみ、理解を深めるふるさと教育の充実は、先人の生き方に触れることなどを通して、ふるさとへの愛着や誇りを育み、

自尊感情の醸成に繋がるものと考えます。地域社会への一員として、逞しく生き抜く子ども達を育成するため、沼田の地域素材を活用し、地域の方々協力いただきながら、沼田町の良さや魅力を知る、ふるさと教育に本年度も取り組んで参ります。

子ども達は将来社会的・職業的に自立し、社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現するための力が求められています。児童・生徒が町内の様々な職業や地元企業の職場を見学したり体験することで、職業についての基礎的な知識と技能・勤労を重んずる態度を学び、個性に応じた将来の進路を選択する能力を養うことを目的とした、キャリア教育も引き続き取り組んで参ります。

★国際化への対応

グローバル化が進む中、国際共通語である英語力の向上は、次代を担う子どもたちにとって極めて重要であり、令和2年度からの新学習指導要領において小学校3・4年生では外国語活動が、5・6年生では英語が教科として導入されることとなっております。

本町においてもこうした動きを捉

え、昨年から週5日の配置とした外国語指導助手（ALT）の活用による効果的な授業の展開、小学校教員の英語の指導力向上に向けた研修活動や小中一貫・連携教育における英語授業の系統化、中学校英語教師の乗り入れ授業、中学生への英語検定の受検料助成をこれまで行ってきた。令和2年度の全面実施に向けて外国語活動等の更なる充実を図って参ります。

沼田学園も2年目となり、まだまだ課題はありますが、児童・生徒の学力・体力の向上とふるさと沼田を愛し、逞しく世界に羽ばたく人材となることを期待しているところであり、教育委員会といたしましては、教育の重大な使命をしっかりと自覚し、活力に満ちた沼田町を創って行くために職員共々全力で取り組んで参る所存であります。

町民並びに議員各位の皆様のご理解とご協力を心からお願ひ申し上げます。令和元年度における教育行政執行にあつた所の信と致します。

※平成31年を令和元年に置き換えて表記しています。

移住定住の推進

令和元年 政策事業概要

■沼田町住んで快適住まいる応援奨励事業【拡充】21,000千円■

4年サンセット事業として平成30年度末で失効した「住んで快適暮らして満足移住定住応援事業」の見直しを行い、40歳以上の方及び新婚の方の新築、中古住宅取得に合わせて行うリフォームなどに対する支援を拡充するとともに、持ち家リフォームへの助成について過去の助成利用履歴をリセットすることで移住定住の促進を図ります。

○新築住宅

基礎額			
区分	現行 交付額	新制度 交付額	備考
所有者年齢	20歳代	170万円	土地購入、自己所有地に関係なく交付
	30歳代	130万円	
	40歳以上	50万円	
加算額（該当する条件の交付額を上記基礎額に加算）			
・土地購入	30万円	30万円	土地購入後3年以内に住宅を新築
・町内業者での建設	70万円	70万円	
・融雪溝設置路線に建設	150万円	150万円	
・既存建物取壊し後に建設	限度額 100万円	限度額 100万円	町内業者により20万円以上の工事費用の2/3以内
・子育て世帯	50万円/人	50万円/人	子ども1人につき
・新婚世帯		50万円	婚姻してから3年以内に住宅を新築

○中古住宅

基礎額			
区分	現行 交付額	新制度 交付額	備考
中古住宅購入	限度額 50万円	限度額 50万円	購入費用（土地・家屋）の1/2以内
加算額（該当する条件の交付額を上記基礎額に加算）			
・子育て世帯リフォーム	100万円	限度額 50万円	子育て世帯に関係なく、中古住宅購入後3年以内に修繕した費用の1/4以内
・子育て世帯リノベーション	150万円		
・一般世帯リフォーム		限度額 100万円	中古住宅購入後3年以内に大規模な改修に要した費用の1/4以内
・一般世帯リノベーション	限度額 100万円		
・子育て世帯		25万円/人	上記リフォーム又はリノベーション加算を受ける場合で子ども1人につき
・新婚世帯		20万円	婚姻してから1年以内に中古住宅を購入した費用（土地・家屋）の1/2以内

○持ち家リフォーム等

区分	現行 交付額	新制度 交付額	備考
・リフォーム	限度額 25万円	限度額 25万円	改修費用の1/4以内 ※過去の改修履歴を除外
・融雪施設	個人 20万円 共同 40万円	個人 20万円 共同 40万円	
・耐震改修	限度額 50万円	限度額 50万円	耐震改修費用の1/4以内

※工事等の費用を基に計算した場合の端数については、千円未満を切捨て

※子育て世帯とは、中学生以下の子どもを養育する世帯

■ U I J ターン新規就業支援事業【新規】 1,000 千円 ■

国の制度を活用し東京 2 3 区に在住または勤務している方が U I J ターンにより特定企業等に就職した場合、移住にかかる費用の助成を行います。

■ ヤング世代移住促進家賃助成事業【拡充】 594 千円 ■

町営住宅は新しいものでも建築後 1 5 年以上が経過し、近年民間賃貸住宅の建設は進んでいますが、近隣に比べ家賃が高いことから若者世代を対象に民間賃貸住宅の家賃助成を実施し更なる移住定住の促進を図ります。

■ 移住定住ブランディング戦略事業 516 千円 ■

移住定住を推進する自治体の中で、競合する自治体との差別化を図るための「本質の明確化」と「独自のらしさ」を磨き上げるとともに、町民とともにブランディングを戦略的に行うことにより、魅力的な地域として移住希望者に「選ばれる地域」を目指します。

■ 子育て世帯町外通勤者支援事業 900 千円 ■

町内居住で町外企業に勤務している（する）世帯主で、中学生以下の子どもを養育する方に対し通勤費用の一部を助成し経済負担を軽減することにより本町への移住定住を促進します。

■ 町外通勤者移住支援事業 600 千円 ■

町外居住で町内企業に勤務している（する）方が、沼田町に転入する場合に転入費用の一部を助成し経済負担を軽減することにより本町への移住定住を促進します。

■ ライフパートナー探し応援事業 300 千円 ■

結婚について前向きに取り組む意欲のある希望者に対し支援を行い、結婚から子育てまで一貫した「切れ目のない支援」を行うことで、地域活力・人口の維持を図ります。

交流人口の拡大

■ 歩いて健康・食べて発見・巡ってにぎわい創出事業【新規】 1,981 千円 ■

健康・食をテーマに商業拠点施設である「まちなかほっとタウン」と医療・健康の拠点施設である「暮らしの安心センター」をメイン会場に町内各施設を巡る「ウォーキングイベント」や「にぎわいイベント」を開催し、まち全体に新たな人の流れを生み、にぎわいや潤い、活力を創出し地域内外の交流人口の増加を図ります。

■ 沼田町まるごと自然体験プロジェクト事業 11,550 千円 ■

平成 3 0 年度において、ほろしん温泉周辺での「ほたる・自然環境」などエリア整備の可能性調査を行ったところですが、本年度においては、町内に点在する地域資源をパッケージ化及び価値の再認識・磨き上げるとともに地域資源を一体的に P R し周遊・滞在していただける仕組みづくりと、子どもの時から沼田町の歴史や文化を体験を通じて学び、将来、町民皆さんが「語り部」として本町の魅力を発信いただける仕組みづくりについて検討



■ J R 留萌本線利用促進事業【新規】 3,000 千円 ■

昨年まで商工会で実施していただいていた「J R 留萌本線応援事業」に加え、N H K 朝の連続テレビ小説「すずらん」2 0 年記念イベント、日本遺産に認定された「炭鉄港」の構成文化財である「クラウド 1 5 号蒸気機関車」の生誕 1 3 0 年記念事業を観光協会との連携で行い J R 留萌本線の利用を促進します。

■ 北そらち～南るもい こどもパスポート事業【新規】 270 千円 ■

周辺 8 市町と連携し周遊観光事業を実施し、本町の「雪やあんどん・ほたるや化石」そして本年 5 月に日本遺産に認定された「炭鉄港」の構成文化財のひとつである「クラウド 1 5 号蒸気機関車」といった本町の魅力ある地域資源を知っていただくことで、都市圏からの交流人口を増やし将来的な移住定住を目指します。

産業の振興と産業創出

■ 農地流動円滑化支援事業【新規】 1,141 千円 ■

現状、本町における農地流動化は進み1経営体当たり約25ha、水稻作付面積では約20haを超える経営状況にあり、経営規模拡大に伴い施設整備などの新たな投資による負担増が懸念されることから、本町農業の持続発展と遊休農地化を防ぎ、効率的な営農を継続するため新たな流動化対策を実施します。

■ 有害鳥獣対策事業【拡充】（ヒグマ） 1,090 千円 ■

近年、ヒグマの目撃情報が多数寄せられ営農や日常生活への影響が懸念されていることから、箱罠を追加購入するとともに捕獲助成金、鳥獣アドバイザーによる現地調査等を新たに実施し捕獲に向けた取り組みを強化します。

■ 有害鳥獣対策事業【拡充】（電牧柵） 18,465 千円 ■

近年、本町では野生鳥獣による農作物被害が増加しており、また、エゾシカは銃器の使用ができない夜間に出没することが多いことから効果的な捕獲の実施に苦慮している状況にあります。

更新地区では、2期にわたり電牧柵の整備を行ってきましたが更に施設効果を上げるため敷設延長を行います。

■ 加工用トマト作付奨励事業【新規】 930 千円 ■

本町農業が持続的に発展するためには、水稻との複合経営を推進し多様な作物等の導入による農業経営の高度化が必要であり、水稻の輪作作物として位置付けられている加工用トマトの生産による農業所得の確保及び特産品（トマトジュース等）の安定的な製造に向けて作付面積の拡大と農業所得の維持向上を図ります。



■ 中小企業特別融資事業【拡充】 33,000 千円 ■

本町の中小企業者などに対する運転資金及び設備資金の融資を促進し、中小企業などの振興を図ることを目的に事業を行っておりますが、今回、融資枠及び限度額の拡大を行い町内事業者の設備資金・運転資金を確保します。

■ 商工業活性化サポート事業 4,000 千円 ■

景気の動向からも、依然地方を取り巻く環境は厳しいものがあり10月からの消費税増税に伴う消費傾向は不透明さを増すことが予想されることから、経営の安定化・商店街の活性化などの取り組みに助成し地域の振興及び活性化を図ります。

■ しごと・未来応援プロジェクト【拡充：無料職業紹介所開設】 7,539 千円 ■

町内企業・事業所において圏域人口の減少もあり労働力の確保に苦慮する状況にあることから、町内企業・事業所の情報発信と「ぬまたっ子」の就業に対する不安解消に向けた「キャリア教育」を実施することにより「働く＋暮らす」をセットで事業展開し、移住定住の促進と持続する地域づくりを進めます。

また、新たに【無料職業紹介所】を開設し「沼田町で働きたい人」と「働き手が必要な町内事業者」の縁結びを行います。

■ 魅力アップぬまた活性化支援事業【拡充】 5,000 千円 ■

魅力あるまちづくりを促進するため、店舗の新築・空き店舗を活用した新たな商業活動、起業化や商品開発などへの取り組み、まちおこし事業や自主的・継続的なまちづくりへ助成し、まちの活力維持・活性化を図ります。

教育、子育て環境の充実

■ 高校生医療費助成事業【新規】 1,500 千円 ■

平成22年度から、医療費の助成対象を中学生まで拡大し、子育て世帯の負担軽減（無償化）を図ってまいりましたが、本年度から対象を高校生まで拡大し子育て環境の更なる充実を図り福祉の向上に努めます。

■ 「子育て世代包括支援センター」の設立【新規】 ■

母子健康手帳交付や乳幼児世帯の転入をきっかけに、子育て世代包括支援センターが妊婦や家族などと信頼関係を築き、将来にわたって健康的な生活習慣を確立できるよう、関係機関と連携した切れ目のない相談支援や事業を実施します。

■ インフルエンザ予防接種費用助成を高校生まで対象化【拡充】 61 千円 ■

現在、インフルエンザ予防接種の個人負担を中学生まで無償化し子育て世帯の負担軽減を図っておりますが、本年度から対象を高校生まで拡大し子育て環境の更なる充実を図り福祉の向上に努めます。

■ がんばる高校生応援手当 7,320 千円 ■

「未来のぬまた」を担う人材育成のため、保護者の経済的負担を軽減し子育て環境の向上を図ります。

■ 子育て世帯冬季暖房経費助成事業 1,700 千円 ■

本町は北空知管内でも有数の積雪寒冷地であることから、中学生以下の子どもを養育する世帯に対し冬季暖房費の一部を助成し、子育て世帯の負担軽減を図ります。

■ 中学校卒業生 半てん贈呈事業【新規】 924 千円 ■

母校やふるさと沼田町への想いをもち続けてもらえるよう、多くのぬまたっ子が小さな頃から参加する夜高あんどん祭りの半てんを贈り、中学校卒業をお祝いします。

■ 中学校部活動生徒送迎事業【新規】 418 千円 ■

現在、中体連を除く各種大会参加に係る生徒の送迎は保護者の方が行っていますが、大会の時期によっては送迎を行う保護者の不足などの課題があることから、一部大会参加に対して町有バスなどでの送迎を行い保護者負担を軽減します。

■ 青少年スポーツ文化振興助成事業【改正】 300 千円 ■

従来「スポーツ文化振興助成事業」を改正し、中学生までを助成対象とし大会・コンクール参加に要する経費の一部を助成し、青少年のスポーツ・文化活動への参加を応援します。

町民福祉の向上

■ 高齢者世帯等除雪費助成事業 4,068 千円 ■

高齢者の地域での孤立や繋がり希薄化が指摘されるなど地域の生活課題が多様化する中で、除雪は高齢者にとって在宅生活を続ける上での大きな課題であることから除雪経費の助成を行い、在宅生活における負担軽減により福祉の向上を図ります。

■ 防災対策の充実（福祉施設に非常用発電機の整備） 138,171 千円 ■

福祉避難所である「和風園」「旭寿園」に非常用発電機を整備し、地域防災力の向上を図ります。

■ 防災対策の充実（非常災害時用トイレトレーラーの導入） 17,383 千円 ■

近年、北海道内においても異常気象や地震などにより各地で大きな被害が発生しており、広域停電の発生など記憶に新しいところですが、避難所での衛生環境悪化による体調管理への不安もあります。

被災時における最低限の衛生環境を確保するため、牽引式のトイレトレーラーを導入し不安の軽減を図ります。

沼田町第6次総合計画

From2019年度 to 2026年度



町では今後8年間のまちづくりの基本方針を定める総合計画を策定しました。

総合計画とは、長期的な展望のもとに、目指すまちの将来像を示し、その実現のための重点施策や目標を定めるもので、全ての計画の基本となり、まちづくりの最上位計画です。

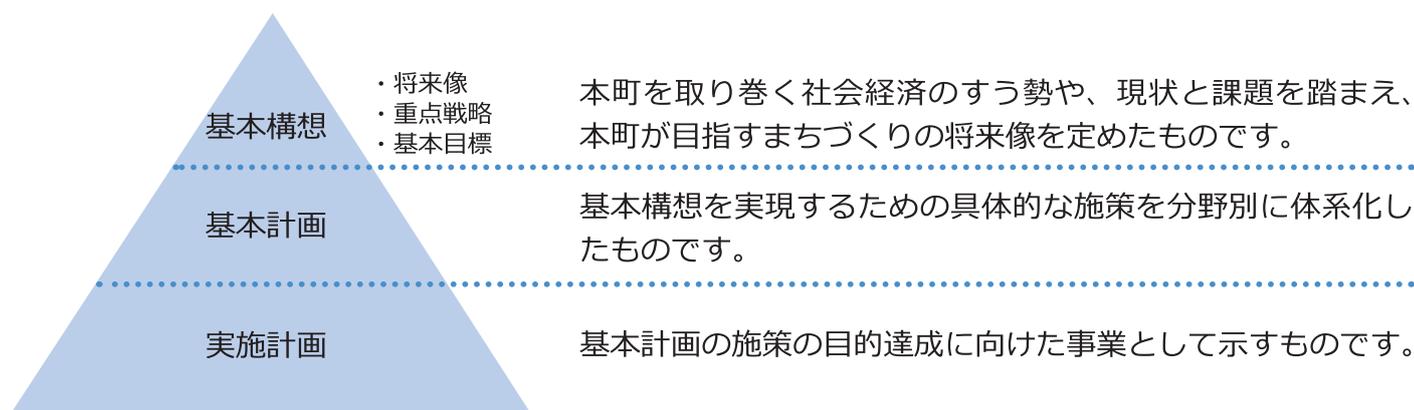
今月号では、沼田町第6次総合計画の全体概要について特集します。

◆ 計画策定までの経緯

本計画を策定するにあたり、第5次総合計画の検証及び見直しを図り、また町民アンケート調査（中学生含む）、個別の町民の意見（移住者中心）や掲示板による意見募集などを通じて、広く皆様のご意見を伺い「沼田町総合計画町民委員会」で議論検討してまいりました。

◆ 計画の構成と期間

沼田町第6次総合計画は、「基本構想」、「基本計画」及び「実施計画」の3層により構成されています。



基本構想の計画期間は、令和元年（2019年）度から令和8年（2026年）度までの8年間とします。基本計画の計画期間は前期期間と後期期間の各4年間とします。実施計画の計画期間は4年間とし、毎年度見直しを行いながら本計画の進行管理を行います。

◆ 目指すまちの将来像

子どもたちが誇りをもてる ふるさと創造 沼田町

～夢とやさしさにあふれる 小さなまちの大きな挑戦～



基本構想

将来像

先人たちのたゆまぬ努力により受け継がれ、現在の沼田町があります。
 この素晴らしい財産と限りない資源をまちづくりに活かし、将来にわたってこの町にずっと住み続けられるよう、町民の皆さまとともに知恵と工夫を結集し「オールぬまた」による笑顔の絶えないまちづくりを育んでいきたい。
 そのために様々な課題に全力で立ち向かい、町民一丸となって未来に向かって挑戦していく、子どもたちに帰ってきてもらう故郷づくりを挑戦していく、そんな思いを込め将来像を設定しました。

重点戦略

沼田町全力宣言プロジェクト

- 1 魅力！活気！元気！持続可能プロジェクト
(農業・商工業関連)
- 2 オンリーワン！世界に発信プロジェクト
(資源・観光 PR 関連)
- 3 沼田で育って良かった！こども応援プロジェクト
(キャリア教育・子育て関連)

将来像の実現に向けて、重点戦略を「沼田町全力宣言プロジェクト（内容は次ページにて紹介）」と設定し、「オールぬまた」によるまちづくりを全力で推進していきます。

基本目標

- 1 いつまでも幸せに暮らせるまちづくり
(健康・医療・福祉・子育て)
- 2 にぎわいのあるまちづくり
(産業・しごと・観光振興・移住定住)
- 3 希望を育むまちづくり
(教育・文化・スポーツ)
- 4 安心・安全に暮らせるまちづくり
(安心・安全・環境)
- 5 町民とともにつくるまちづくり
(協働・行財政)

将来像の実現に向けて、基本目標は各分野で取り組むまちづくりの基本的な方向性を示す内容を5つの柱で構成し、推進していきます。

基本計画

- | | | |
|---------------|-----|-------|
| 1 健康づくりの推進 | ほか全 | 7 施策 |
| 2 農業の振興 | ほか全 | 8 施策 |
| 3 学校教育の充実 | ほか全 | 4 施策 |
| 4 住宅・住環境の充実 | ほか全 | 14 施策 |
| 5 協働のまちづくりの推進 | ほか全 | 5 施策 |

将来像の実現に向けて、基本計画は取り組むべき具体的内容を5つの柱で構成し、推進していきます。



重点 戦略

その名も…

沼田町全力宣言！プロジェクト

全力宣言その1

魅力！活気！元気！持続可能プロジェクト

(農業・商工業関連)

基幹産業である農業において、将来を見据えた総合的戦略を図るとともに、商工業ではまちのにぎわいを創出することによる様々な分野の取り組みを有機的に結びつけ、町内外のひとやもの・情報など循環できる仕組みづくりを展開します。

また、企業誘致の取り組みにも力を入れ、雇用の場を確保するとともに地元企業のサポート体制も進めていき、将来に向かって持続可能なまちづくりを進めていきます。

主な取り組み

- スマート農業の推進
- 農産物ブランド力の強化
- 利雪農業の推進
- 商店街後継者への支援
- 企業誘致の推進
- 雇用促進対策 ほか
- 農業担い手の確保
- 農地流動化の円滑な推進
- 商店街賑わい活性化の推進
- 空き店舗等の有効活用
- 地元企業へのサポート体制



T T T T T

全力宣言その2

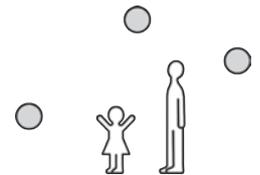
オンリーワン！世界に発信プロジェクト

(資源・観光 PR 関連)

本町には、夜高あんどん祭りやほたる、化石や雪エネルギーなど他にはない特色ある資源がたくさんあります。この資源を「食」や「観光」と絡めた様々な取り組みを展開し、多くの方に交通の便が良く立地環境に優れた沼田町の良さを知っていただくことで、関係人口・交流人口の拡大をすすめ活力と潤いのあるまちづくりを進めていきます。

主な取り組み

- 農産物を活用した商品開発
- 雪エネルギーの利活用促進
- まちの資源を活用した体験メニューの提供
- テレワーク・サテライトオフィス等の誘致 ほか
- ご当地グルメの開発・提供
- 積極的な情報発信策



全力宣言その3

沼田で育って良かった！こども応援プロジェクト

(キャリア教育・子育て関連)

将来こどもたちが沼田町に帰ってきてもらう、世界に羽ばたいてもらえるよう様々な生きた経験を体験できるキャリア教育の充実を図り、また元気にのびのびと運動ができるようスポーツ環境の充実を図ることによる本町独自の教育環境づくりを進めていきます。

子育て世代においては、更なる子育て支援策の充実や日常の不安や悩みを解決できるよう子育て環境の整備を図り、誰もが住んでみたい、住んでよかったと安心して子育てできるまちづくりを進めていきます。

主な取り組み

- キャリア教育の推進
- スポーツ環境の充実
- 子育て支援策の充実
- U・I・Jターン者などへの支援 ほか
- 小中一貫連携教育・生涯教育の充実
- 子育て支援ヘルパーの配置
- 子育て世代包括支援センターの充実





様々な分野・課題を点から線へ、
知恵とアイデアを結集して、
町民一丸となってまちづくりを進めれば、
子どもから高齢者まで町民誰もが、

夢と希望と誇りを持てるまち、
そんな沼田町をみんなで作ります。

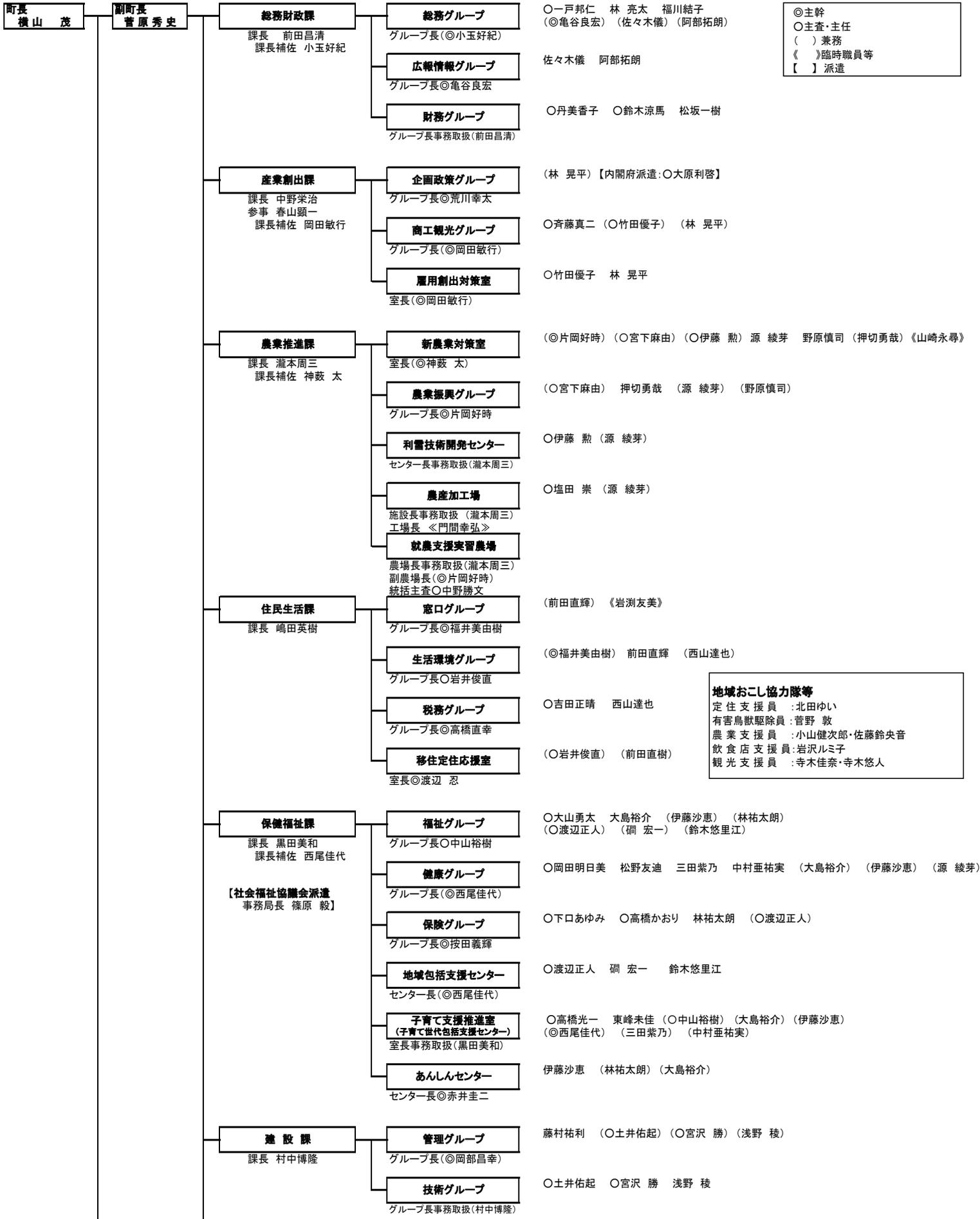


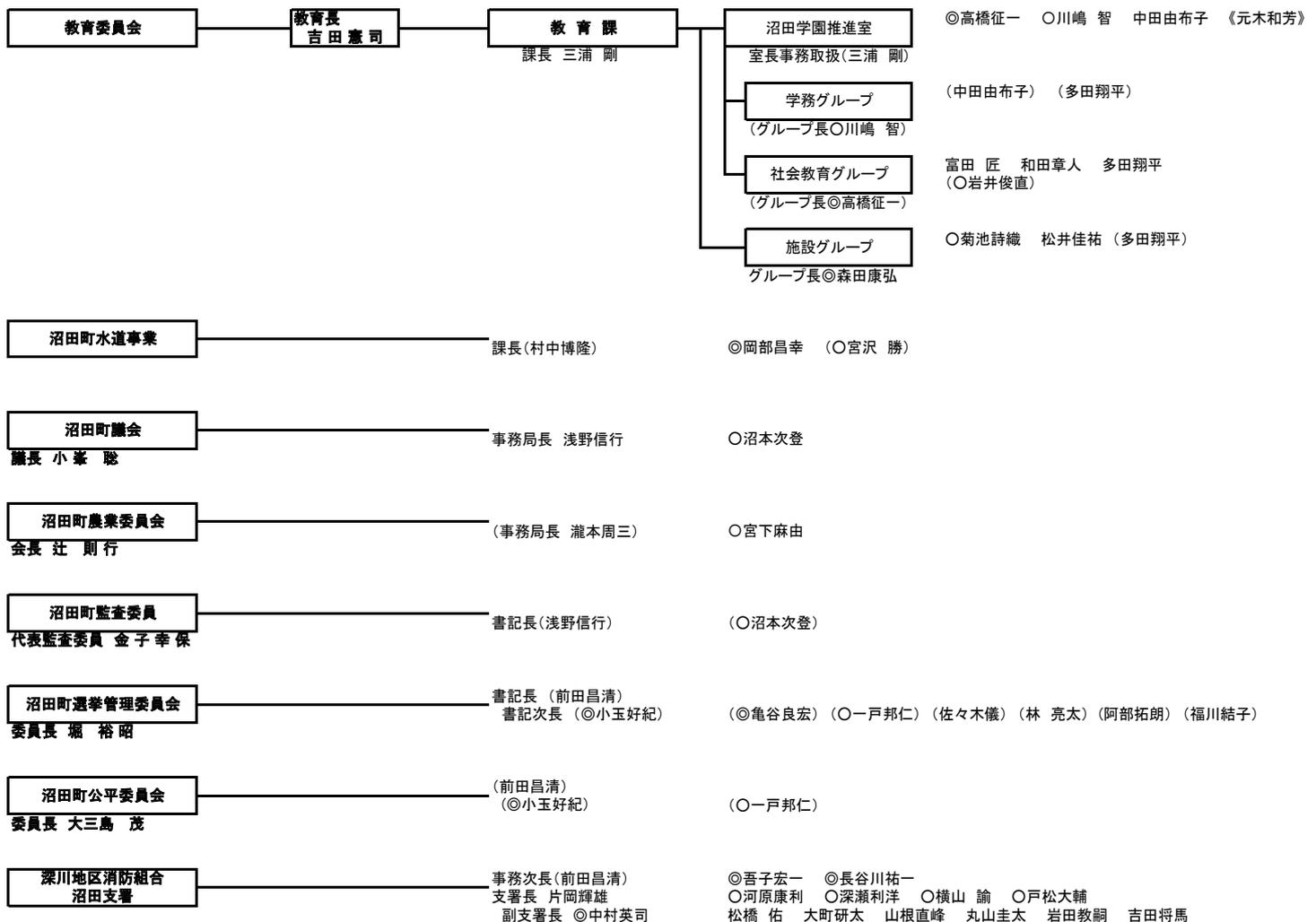
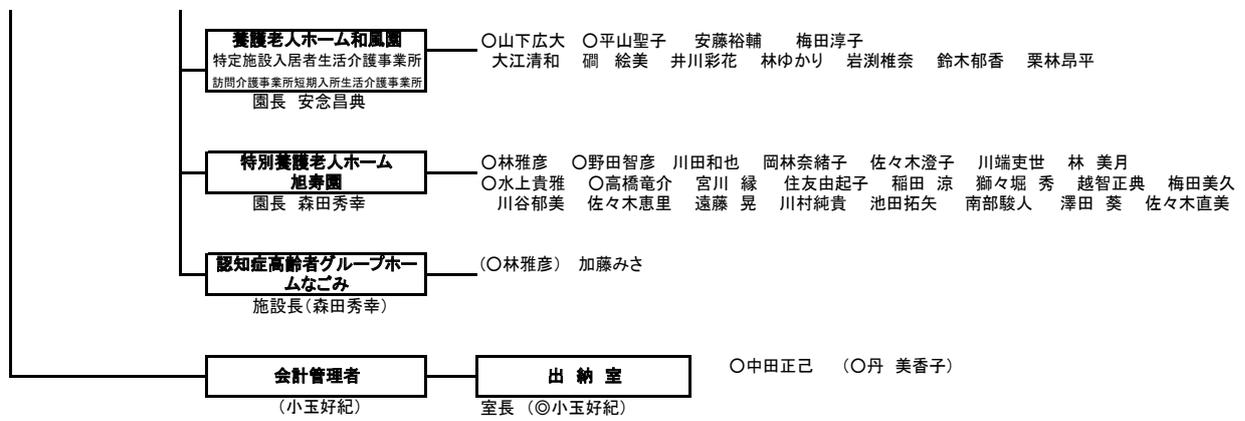
【沼田町機構図】

令和元年7月1日現在

沼田町役場機構図

令和元年7月1日現在





★令和元年7月1日から新たな組織体制になります★

産業創出課

「政策推進室」と「農業商工課」の企業誘致及び商工観光部門を新たに「産業創出課」として、まちづくりと産業振興創出を一体的に取り組みます。

農業推進課

基幹産業である農業部門を新規就農担い手対策及びスマート農業などの新技術導入を支援推進するため、「農業商工課」から「農業推進課」へ改称します。

日頃の感謝を込めて

和風園の入園者による地域奉仕活動

6/3

和風園入園者が毎年行っている地域奉仕の活動として旭町バス停の清掃が行われました。

入園者の方10名と職員が、バス停の掃き掃除や窓の拭き取り、草むしり作業などを行いました。

入園者の方は「普段から地域の方にお世話になっているので、気持ち良くバス停を使って頂けたら」と話していました。



普段とは違う楽しさを

パークゴルフ場まつり

6/8

町民パークゴルフ場において、第4回町民パークゴルフ場まつりが開催されました。

「おもしろパークゴルフ大会」として、子どもの部・大人の部それぞれでゴムボールを使ってプレーしたり、障害物がコース内に置かれていたり、普段のパークゴルフとは違ったルールに悪戦苦闘しながらも、参加者は楽しみながらスコアを競い合っていました。



一つひとつ丁寧に

化石採取会

6/8

幌新太刀別川で化石採取会が開催されました。

この採取会は普段は採取が禁止されている沼田町指定文化財の幌新太刀別川河床で、「タカハシホタテ」の採取ができる、数少ない機会です。

参加者は一つひとつ丁寧に採取を行い、発掘した化石のコーティング作業も行い、この日参加した多くの子どもたちは、目の前で現れる化石に興味津々でした。



みんなで彩り豊かなまちに

ゆめつくる花壇に植栽ボランティア

6/11 生涯学習総合センターゆめつくる前の花壇に花の植栽が行われました。

この植栽は、自治振興協議会（石田隆広会長）のグリーンルール事業の一環として、沼田中学校の生徒が行い、ペチュニアやマリーゴールドなど約500株の花を植えました。



今年はどんなアイデアが？

北海学園大学セルフリノベーション

6/14 北海学園大学で建築を学ぶ学生が、町内の空き家を自分達の手でリノベーションし、移住体験住宅として活用する事業を実施し今年で3年目になります。

今年、旧厚生病院長住宅をリノベーションすることとなり、学生達が「わー家族とまちをつなぐ家ー」と「しょうへき牆壁～選るワークスタイルと居住空間の融合～」の2つの案のプレゼンテーションを行い、投票の結果わずかの差で「牆壁」が採用されました。

学生は9月のお披露目に向けて、作業に取りかかります。



地域の安心・安全を

まとい入魂式

6/15 沼田神社において「纏まとい」の入魂式を執り行いました。

平成22年に設立された「沼田まとい会」が本年度で10年目の節目を迎える事を記念し、渡部稔会長から寄贈された纏の入魂式が執り行われました。

まとい会では、新しい纏を絆に一致団結し、火災予防の普及徹底を図っていきます。



地域で一体となって

土地改良区・JA 青年部沼田支部意見交換研修会

6/18

沼田町土地改良区が JA 北いぶき青年部沼田支部員を対象とした研修会を行いました。

この研修会は、土地改良区が、普段どのような仕事をし農家の方のサポートしているのかなどについて、土地改良区職員が説明するもので、参加者は、水門の利用方法などの説明を受けました。

その後、各施設の視察や交流会を通して、お互いの仕事内容や現状を理解しあいました。



農業の楽しさ・大変さを

メロンの定植作業

6/19

沼田小学校（正田博和校長）4年生のメロン体験学習が行われました。

この学習は町内の農家女性により組織された「農天気の家」（藤村富士子代表）が主催し、作物の作られる過程等を学ぶことで、農業への関心や植物など生き物へのやさしい心を養ってもらうことを目的に毎年実施しています。

児童14名は、農天気の家会員の指導を受けながら、甘く美味しいメロンに育つよう1本ずつ丁寧に植込んでいました。



自慢のお酒を飲み比べ

3町うまいっしょグランプリ

6/24

沼田町・雨竜町・北竜町の3町と JA 北いぶき、JA きたそらちで組織する3町営農改善推進協議会（横山茂会長）の総会が行われました。

総会終了後、「3町うまいっしょグランプリ～お酒の部～」が開催され、今回は3町の「雪なごり 瑞華」「うりゅう」「北竜彗星」それぞれのお酒を飲み比べ、投票が行われ、沼田町は僅差で2位となりました。



元気に走って踊って

認定こども園で大運動会

6/29

沼田認定こども園（土肥芳子園長）で第4回大運動会が開催されました。土肥園長は「今まで練習してきた成果を、お父さん・お母さんに見てもらいましょう。」と園児に話しかけていました。

園児は「お遊戯」で一生懸命に踊り、「かけっこ」では最後まで諦めずに走っていました。

また、親子で力を合わせて行うリレー競技など、息の合ったプレーを披露し、元気いっぱいの姿を家族に見てもらいました。



各事業所にご協力いただきました！

○日本緑化中村株式会社

6月6日（木）・26日（水）日本緑化中村株式会社（中村剛代表取締役）が、町主要施設にお花のプランターを設置する環境美化ボランティア活動を行いました。

同社は、自社のビニールハウスで種から育てたマリーゴールドやペチュニアの苗を各施設に寄贈する環境美化活動を行い今年で10回目を迎えます。

6日は、沼田町就業支援センターの花壇に約300株の花を植えるボランティア活動を行い花壇を綺麗に彩りました。

26日は、町民パークゴルフ場と暮らしの安心センターに5種類の花を植えたプランター約120個を寄贈いただき、色鮮やかなお花が来訪者をお迎えしています。



○富岡産業株式会社



6月20日（木）深川市に本社を置く富岡産業株式会社（富岡正幸代表取締役）が、町内で草刈りボランティアを行いました。

同社は、沼田町民体育館から幌加内トンネルまでの国道の年間維持や、高規格道路の工事を請け負うなど、沼田町と深い関わりがあることから、平成26年度から草刈りボランティアを実施しています。

この日は作業員が沼田町を訪れ、刈払機を使って野球場の前の草を丁寧に刈り取りました。

沼田町赤十字奉仕団員募集

～あなたの力を貸してください～

沼田町赤十字奉仕団では、40名ほどの団員が地域における奉仕活動、また、いつ起こるかわからない災害に備えて、ボランティアとして活動しています。

明るく住みよい社会のため、陰の力となって活動していただける奉仕団員を募集しています。

●赤十字奉仕団ってなに？

■赤十字奉仕団とは

「人間の生命を守り、一人一人を大切にしたい」という願いのもと、「赤十字のボランティア活動を通じて地域社会を住みよくしよう」とする人々が集まって結成されたボランティア組織です。



●どんなことをしているの？

■赤十字奉仕団の主な活動

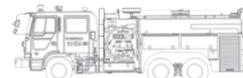
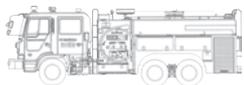
沼田町赤十字奉仕団では、クリーンぬまた空き缶拾いへの参加、役場付近の花壇に花の植樹など環境美化活動に取り組んでいます。

また、沼田消防が実施するイベントでの炊き出し訓練や災害時の応急救護法の習得などの研修の実施を行い、地域でいつ起こるかわからない災害に備え研鑽を積んでいます。

昨年9月には、胆振東部地方で発生した地震の被災地である厚真町で炊き出しの支援を行い、被災された方々に温かい食べ物を提供してきました。



赤十字奉仕団の活動に興味がある方、意欲のある方であればどなたでも参加できますので、下記へお問い合わせください。



消防ちびっこ広場 開催のお知らせ

8月3日(土) 13時30分から沼田町役場庁舎前にて第26回消防ちびっこ広場を開催します。
消防ちびっこ広場は、幼少期のころから火災の恐ろしさに関心を持ってもらうことを目的として毎年開催しています。

放水体験、消防車乗車体験等の各種体験コーナー、無料縁日コーナー、救助実演などたくさんのアトラクションや豪華景品を用意しておりますので、多数のみなさまのご来場を心からお待ちしています。(※内容を一部変更することがあります)



※写真は今年のちびっこ広場の様子です



夏の火災にご用心！

これからの季節、行楽の機会でもバーベキューや花火などで火を使用することが増えてきます。また、夏場に活躍するエアコンや蚊取り線香などでの火災も多く発生しておりますので、火の用心を心掛けて楽しい夏の思い出をたくさん作りましょう。

1、バーベキューでの注意点

- ・炭を使用する場合は紙類、ダンボール等の燃えやすいものが周囲にないことを確認しましょう。
- ・使用した炭は水をかけたり、炭壺で保管するなどして、完全に火が消えているのを確認しましょう。



2、扇風機やエアコンを使用する際の注意点

- ・製造から長期間経過した扇風機は、就寝時や人がいない場所では使用しないようにしましょう。
- ・エアコンは消費電力が大きいので、コード類の改造や不適切な修理、接続を行わないようにしましょう。



3、蚊取り線香を使用する際の注意点

- ・周りに燃えやすい物がないか確認しましょう。
- ・消えているのを十分に確認してから処分しましょう。



住宅用火災警報器は10年を目安に点検・交換しましょう。

沼田町
防火標語

大切な家族や財産を守るため、住宅用火災警報器を設置しましょう。

『声かけよう みんなで確認 防火の輪』



沼田の未来を創る「沼田っ子」を育むために 沼田学園 コミュニティ・スクール スタートしました！！

6
/
7

第1回学校運営協議会が開催され、昨年度から準備してきました沼田学園のコミュニティ・スクールがスタートしました。

コミュニティ・スクールとは、学校・家庭・地域が「沼田っ子」のために何が必要で、何ができるかをそれぞれの立場を越えて話し合い（共有）、互いに手を取り合いながら（連携・協働）、地域全体で未来を創る子どもたちの成長を支えていく取り組みです。

今回の運営協議会では12名の委員の方々に委嘱状の交付と委員長、副委員長が選任されました。正田沼田学園長からは「子ども達に沼田っ子でよかったと言ってもらえる沼田学園の教育活動の推進を今年度の沼田学園の経営とする」と今年度の沼田学園の基本方針が説明され、協議会にて承認されました。

今年度は「学校を知る」ことから運営協議会を始めます。参観日や各種行事等を通して学校および子ども達の様子の理解を深め、協議に生かしていく予定です。

また、コミュニティ・スクールについて、空知教育局社会教育指導班の尾形主査にオブザーバーとして専門家の知見をいただくことになっています。



□学校運営協議会委員

(任期：令和元年6月1日～令和2年3月31日)

氏名	組織団体	備考
日暮 茂 男	学識経験者	委員長
岡本 佳 彦	認定こども園 副園長	副委員長
石田 隆 広	沼田町自治振興協議会 会長	
松田 剛	沼田町社会福祉協議会 会長	
村井 喜 美	町民代表	
青木 美弥子	町民代表	
沼田 晴 子	町民代表	
伊藤 勲	沼田認定こども園 PTA	
神 薮 太	沼田小学校 PTA	
込山 英 毅	沼田中学校 PTA	
本田 義 博	沼田小学校 教諭	
佐藤 望 美	沼田中学校 教諭	

★お知らせ★



令和元年5月1日、更新の岡田和久さんへ社会教育委員の委嘱状の交付を行いました。

1年間よろしくお願いいたします。

お問い合わせ … 沼田町教育委員会（電話35-2132）

○教育委員会「ブログ」随時更新中○ URL: <http://blog.canpan.info/numakyoui/>



直木賞、芥川賞というと普段本を手にとらない方でも知っている有名な文学賞です。この直木賞と芥川賞の候補作が6月17日付で発表されました。

直木賞と芥川賞は公益財団法人日本文学振興会が行っている文学賞で、上半期と下半期の年2回選考があり今回は上半期の選考になります。昨年の下半期は、直木賞の受賞作は真藤順丈『宝島』、芥川賞の受賞作は上田岳弘『ニムロッド』・町屋良平『1R 1分34秒』が選ばれました。

図書館では、直木賞と芥川賞の受賞作と候補作をすべてではありませんが揃えています。昨年下半年の受賞作である『宝島』、『ニムロッド』は新刊コーナーにあります。

芥川賞は候補作が選ばれた時、雑誌に掲載されているものしかないためすぐに図書館で購入することは難しいですが、直木賞は本として出版されているものを選ばれているので、今年度の直木賞の上半期の候補作もこれから図書館に入れていく予定です。

これからくる夏休みやお盆休みの間に、注目度が高い文学賞の作品を読んでみませんか？

図書館に来館した際は、ぜひ本を手にとってみてください。



新刊図書

《一般書》

おまえの罪を自白しろ	真保 裕一
シーソーモンスター	伊坂 幸太郎
帰還	堂場 瞬一
最後の頭取	河谷 禎昌
警察庁長官狙撃事件	清田 浩司
定年後の人生を変えるアドラー心理学	八巻 秀
おいしいおはなし—子どもの物語とレシピの本—	本とごちそう研究室
宮中歌会始全歌集	宮内庁
空襲で消えた「戦国」の城と財産	吉岡 孝

《児童書》

初恋まねき猫	小手鞠 るい
あれあれあれれ	つちだのぶこ
ちゆるちゆる	内山 悠子
とんたんイスたん	新井 洋行
ちいさなハンター	佐藤 まどか
大渋滞	いとう みく
きょうなにしてた?	はまの ゆか

新刊図書おすすめ!!

『マジカルグランマ』 柚木 麻子



女優になったが結婚してすぐに引退し、主婦となった正子だったが、75歳を目前に再デビューを果たし「日本のおばあちゃんの顔」となる。しかし、夫の突然の死によって仮面夫婦であることが世間にバレ…「理想のおばあちゃん」から脱皮した、したたかに生きる正子の姿を痛心に描き切る極上エンターテインメント!

『ノラネコぐんだん おばけのやま』

工藤 ノリコ



大ヒット絵本シリーズ第7弾は、お団子屋さんが舞台。またまたお団子屋さんに忍び込み、勝手にお団子を作って美味しくいただきます。すると、お団子が竜巻に飛ばされて…。

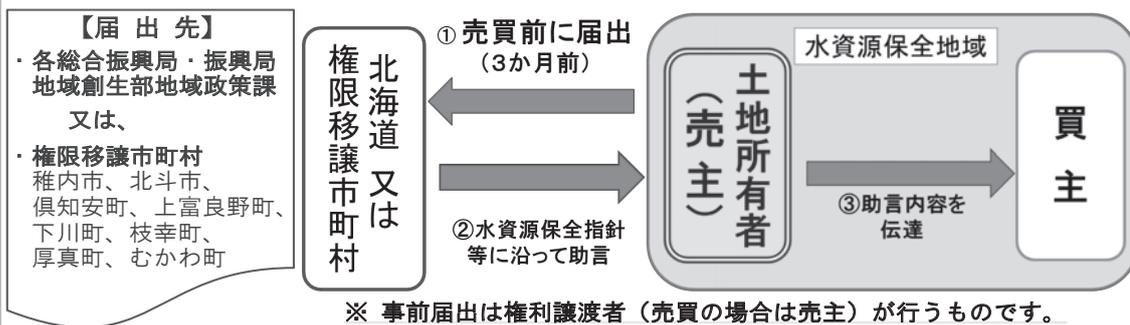
家から図書館の本を検索しよう

図書館にある本をインターネットで検索できるようになっています。検索は、沼田町教育委員会のブログのリンク集からどうぞ。

<http://blog.canpan.info/numakyoui/>

『北海道水資源の保全に関する条例』に基づく事前届出について

水資源保全地域に指定された区域内で土地取引行為を行う場合は、**契約締結の3か月前までに知事への届出が必要です。**



届出先は、土地の所在する北海道総合振興局・振興局、又は道の事務の権限移譲市町村(上記8市町)です。
 また、指定地域は、地域を管轄する道総合振興局・振興局、又は北海道のホームページで確認できます。
<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/ss/stt/mizusigen/mizusigen.htm>

問い合わせ先 北海道総合政策部政策局土地水対策課土地利用計画グループ
 TEL 011-204-5178

東京沼田会 会員募集

東京沼田会(田坂勝芳会長)では、首都圏にお住まいの会員を募集しています。
 沼田町に縁があり、遠く離れた郷里沼田町を応援していただけるご家族・ご友人をご紹介ください。

- 【主な活動】
- 会報の発行
 - 沼田町が首都圏で実施する事業などへの参加及び協力
 - 総会及び懇親会

【お問合せ】 総務財政課広報情報グループ 電話 35-2111

人の動き

(令和元年6月28日現在)

人口 3,044人(前月比△10人)
 男性 1,440人(前月比 △4人)
 女性 1,604人(前月比 △6人)
 世帯数 1,491世帯(前月比△6世帯)

■総人口増減内訳

増加) 転入: 3人 出生: 0人
 減少) 転出: 10人 死亡: 3人

交通事故死ゼロ

(令和元年7月11日現在)

2,559日継続中!!

健名	鈴木	前田	池川	氏
留藏	幸子	めよ子	操	
さん	さん	さん	さん	名
7月2日	6月29日	6月27日	6月24日	死亡月日
91歳	94歳	78歳	92歳	年齢
市内6	東予	和風園	市内2	住所

お
く
や
み